

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

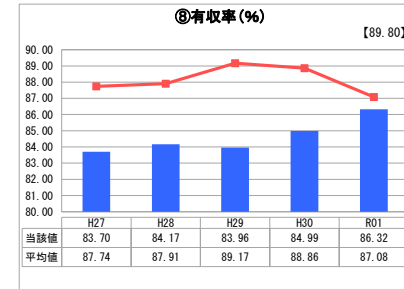
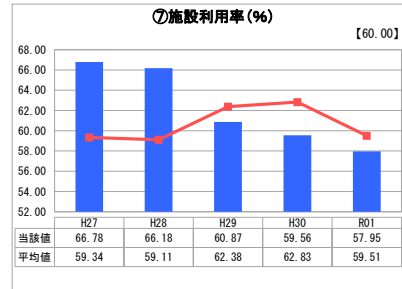
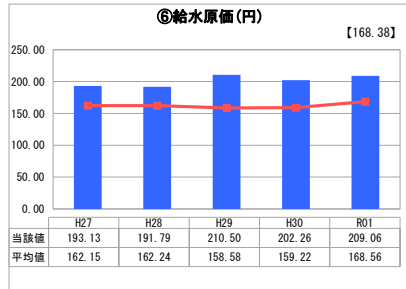
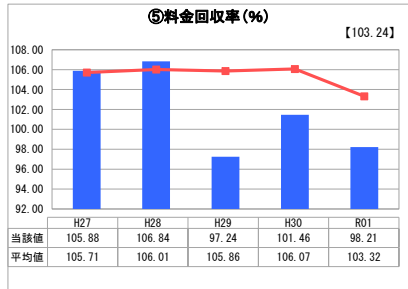
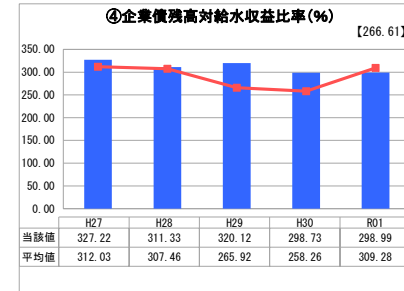
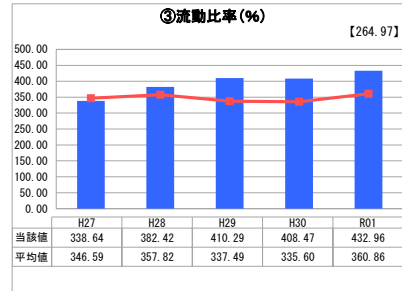
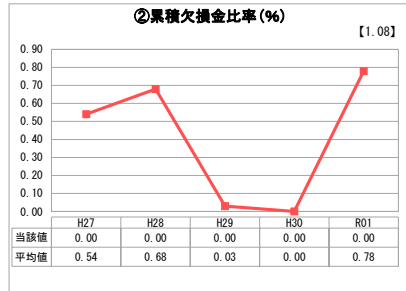
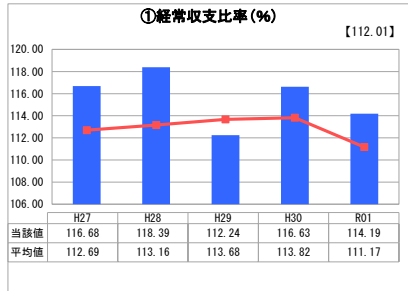
岡山県 津山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	77.41	99.37	2,530	

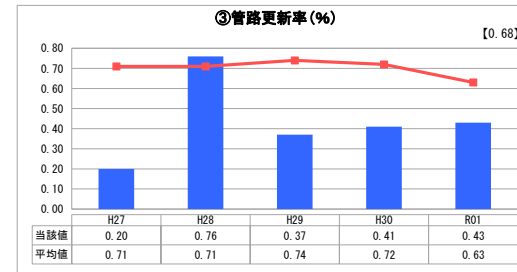
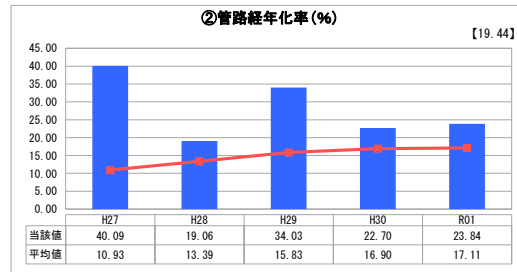
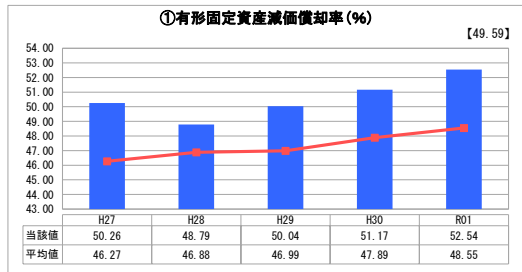
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
100,669	506.33	198.82
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
99,478	205.67	483.68

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、引き続き100%を上回っており健全性が保たれ、類似団体と比べても同程度を維持している。

②累積欠損比率は、引き続き0%であり、健全である。

③流動比率は、類似団体と比べても高い値であり、健全性は保たれている。

④企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均を下回っているが、経年比較では類似団体と概ね同程度の値で推移している。

⑤料金回収率は、平成29年度の簡易水道事業統合以降、類似団体と比べ低い値となっており、100%を下回っている。

⑥給水原価は、おおむね横ばいでの推移であったが、簡易水道事業統合により若干上昇した。経費削減には努めていくが、地形、地勢的な問題もあり、今後も同様の傾向が続くと見込んでいる。

⑦施設利用率は、類似団体と同程度であるが、給水人口の減少などに伴う配水量の減少により、低下傾向にある。

⑧有収率については、類似団体と比較し低い値が続いているが、漏水対策などにより上昇傾向にある。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較し高い値となっており、類似団体と同様に、上昇傾向にある。

②管路経年化率は、類似団体と比べ高い値で推移しており、対策が急がれる状況は変わっていない。

③管路更新率は、依然低い状況にあるが、平成30年に改定した「水道ビジョン」に基づき、計画的に更新を進めていくこととしている。

## 全体総括

経常収支比率、流動比率ともに類似団体と比べ高い値で推移しており、現時点での健全性は保たれているが、今後、人口減少に伴う給水量の減少が見込まれ、経営状況は厳しさを増すものと考えている。一方で、有形固定資産減価償却比率、管路経年化比率ともに類似団体より高く、上昇傾向にある。「水道ビジョン」に基づき、管路等更新事業の着実な推進を進めていく必要がある。